

令和6年7月31日
独立行政法人環境再生保全機構

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」における
研究開発テーマC1 研究開発責任者の決定について

独立行政法人環境再生保全機構（理事長：飯塚 智、以下「ERCA」という。）が研究推進法人を務める、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」研究開発テーマC1における、研究開発責任者が決定しました。

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）は、内閣府設置の総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）が司令塔機能を発揮し、府省・分野の枠を超えたマネジメントにより、科学技術イノベーションの実現を目指す国家プロジェクトです。SIPでは、CSTIが社会的に不可欠かつ日本の経済・産業競争力にとって重要な課題と、各課題をリードするプログラムディレクター（PD）を選定し、基礎研究から実用化・事業化までを見据えて、一気通貫で研究開発を推進します。

今回、SIP第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」の研究開発テーマC1「循環性向上と可視化のためのプラットフォーム整備」の研究開発項目を実施する研究開発責任者について、令和6年4月26日（金）から5月23日（木）まで公募を行い、公募締め切り後、ERCAに設置の選考・評価委員会において選考を実施しました。その結果を基に、研究開発責任者3名が決定いたしました（別紙1）。

なお、本SIPの課題の取組については下記ホームページをご参照ください。

ホームページ URL：<https://www.erca.go.jp/erca/sip/index.html>

<添付資料>

○SIP第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」

別紙1：令和6年度公募 採択研究開発プロジェクト及び研究開発責任者

別紙2：令和6年度公募 選考・評価委員会名簿

<お問い合わせ先>

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部 SIP推進課

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー9階

TEL：044-520-9641 FAX：044-520-9660

E-mail：sip_ce@erca.go.jp（ATを@に変換してください）

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」
2024年度（令和6年度）研究開発テーマC1追加公募 採択研究開発プロジェクト及び研究開発責任者

研究開発テーマC1：循環性向上と可視化のためのプラットフォーム整備

研究開発項目②：再生材の自動車部品への適用に向けた品質評価及び自動車部品開発

研究開発項目③：再生材データバンクと連携した東南アジア地域も含めたビジネスモデルの構築

研究開発項目	研究開発プロジェクト名	研究代表機関	研究開発責任者
②	再生材の自動車内外装部品への適用に向けた品質評価及び自動車部品開発	豊田合成株式会社	内田 均
②	再生材の自動車部品への適用に向けた品質評価及び自動車部品開発	トヨタ紡織株式会社	柘植 元基
③	東南アジア地域における再生材データバンクの活用およびビジネスモデルの構築	長瀬産業株式会社	増井 祐介

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期課題

「サーキュラーエコノミーシステムの構築」

令和6年度選考・評価委員会 委員

- 東 雄一 元 公益社団法人自動車技術会 常務理事
- 雨宮 慶幸 公益財団法人高輝度光科学研究センター 理事長
- ◎ 伊藤 耕三 東京大学 特別教授
- 岩崎 富生 株式会社日立製作所 生産・モノづくりイノベーションセンタ 部員（シニア所員）
群馬大学 客員教授
- 関 隆広 名古屋大学未来社会創造機構・量子化学イノベーション研究所 特任教授
名古屋大学 名誉教授
- 藤井 健吉 花王株式会社研究開発部門 研究主幹/研究戦略・企画部部長（レギュラトリーサイ
エンス担当）

（以上6名。五十音順。◎は委員長）